

ほやほや

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.076
令和4年1月発行



日本赤十字社 福井赤十字病院
Japanese Red Cross Society

ご自由に
おとりください。

新年の挨拶

脳梗塞治療、診断をより効果的にする RAPID(自動脳血流測定AI)導入

睪がんについて

教えてドクター Q&A(眼科)

医療チーム紹介【緩和ケアチーム】

助産師外来 再開!!

職種別・取り組み紹介【歯科技工士／歯科衛生士】

栄養課おすすめレシピ

調理師
おすすめ

冬野菜・4種の根菜味噌煮込み鍋



材 料 (2人分)

大根	100g
人参	100g
ごぼう	50g
れんこん	50g
えのき	50g(1/2袋)
ネギ	20g
水菜	20g
しいたけ	10g(2枚)
鶏もも肉	120g(1/2枚)
水	500cc
味噌	50g(大さじ3杯弱)
おろし生姜	2g
おろしにんにく	2g

作り方

- ①大根、人参の皮を剥きピーラーで薄くスライスする。
- ②ごぼうは洗ってささがきに切り、れんこんは皮をむき5mm幅の棒状に切る。
- ③えのき、しいたけは石づきを落とす。ネギは斜め切り、水菜は3cm幅に切る。
- ④鶏肉は一口大に切る。
- ⑤鍋に分量の水、おろし生姜、おろしにんにくを入れ、火にかけて味噌をとく。
- ⑥鶏肉、ごぼう、れんこんを先に入れ10分程度煮込む。
- ⑦残りの野菜を入れて火が通るまで煮込んだら完成。

寒い冬の食卓で食べたい料理と言えば、あたたかい「鍋」ではないでしょうか。今回は4種類の根菜を使った鍋料理をご紹介します。

ポイントは、旨味をより出すためごぼうは土を落とす程度に洗い皮を残すこと、大根と人参は薄くスライスすることです。ごぼうやれんこんは火が通りにくいので先に鍋に入れ、大根や人参は最後にさっと加熱することで食感を楽しむことができます。また、生姜やにんにくの風味がアクセントとなり、味噌だけで十分美味しくなります。

定番の具材や市販の鍋つゆも美味しいですが、たまにはいつもと違った鍋はいかがでしょうか。シメはうどんがおすすめです。

担当:調理師 阪本 勝広/上野 恭男

栄養量 (1人分)

エネルギー	247kcal	塩分	3.1g
たんぱく質	15.9g	食物繊維	7.2g
脂質	10.3g		

今月の表紙

合言葉は“救える命を見逃さない”。

脳神経センター長の西村です。2020年のSCU増床に引き続き、全自動脳画像解析ソフトウェアのRAPIDを導入して急性期脳卒中の診療体制を強化しています。脳卒中はいつでもどこでも起こります。“救える命を見逃さない”を合言葉に福井の皆さんにいきわたる世界基準の体制を作っていきたいと考えています。



+ 福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代) FAX.0776-36-4133
E-mail webmaster@fukui-med.jrc.or.jp
http://www.fukui-med.jrc.or.jp/
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

ほやほや

“ほやほや”と納得できる情報、できてきた“ほやほや”の情報をみなさまに提供していく季刊発行の情報誌です。院内の広報委員で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。

脳梗塞治療、診断をより効果的にする

RAPID(自動脳血流測定AI)を導入しました!

全国でも14施設しか導入されておらず、
北陸では最初の導入!



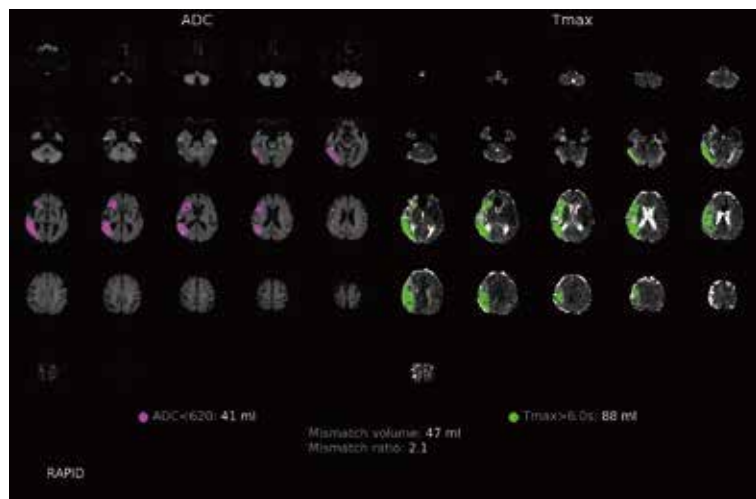
脳神経センター長
西村 真樹

RAPIDって何?

脳の血液の流れを自動的に解析するソフトです。これを使って脳の画像からすでに脳梗塞になってしまっている部分とこれから脳梗塞になる可能性がある部分を判定します。

どんな症例に有効なの?

急性期脳梗塞では脳に詰まった血栓を取り除き、血液の流れを再開させる再開通療法(血栓回収療法)が平成27年ぐらいから全国で行われるようになりました。脳梗塞がすでに完成してしまってからでは効果がありませんので、当初は患者さんの元気な状態が最後に確認できた時間から6時間以内の症例にだけ推奨されるものでした。しかしながら平成30年に6時間以上たっても、患者さんによっては再開通療法が効果のある患者さんがいることがわかりました。6時間を超えた症例のうち、治療できる患者さんを見つけ出すのが今回導入したRAPIDです。



紫の部分がすでに脳梗塞になっている部分。緑の部分は血流が低下しており、治療しないと脳梗塞になる可能性が高い部分。この画像を分析することにより発症から24時間までは血栓回収療法が有効な症例があることがわかりました。

RAPIDは発症時間不明や、最終健常確認から6時間以上経過した患者さんから血栓回収療法が有効な症例を見つけ出します。具体的には朝起きたら麻痺があったけれど、最後に元気な姿を見たのは昨晩といった場合や、家で一人暮らしをしていて倒れているところを発見されいつ倒れたのかがわからない場合などです。

RAPIDは全国でも14施設しか導入されておらず、福井県内ではもちろん北陸でも初導入となります。当院ではRAPIDをいち早く導入し、急性期脳梗塞の患者さんの予後改善に役立てるために活用したいと思います。



理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。

安全と質を向上させ、優しい医療を行います。

人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。

急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。

保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。



新年のご挨拶

令和4年 元旦 院長 高木 治樹

明けましておめでとうございます。昨年末より、漸く新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きをみせ、地域の皆様には良き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は一昨年に続き、新型コロナウイルス感染症対応に終始した年となりました。目に見えないウイルスによる苦境が、これほど長期間にわたり皆さんの生活に影響したことは最近なかったと思います。当院でも、院内感染防止のため、病棟の面会制限をお願いし、ご不便をおかけしました。患者さんへ感染から守るためとはいえ、入院患者さんにとっては、不安な日々だったと思います。

新型コロナウイルスだけでなく、「地域に寄り添う良質な医療を提供する病院になる」という目標に沿い、5月にCTの1台を造影剤使用量の低減が可能で、より安全な新機種に更新しました。10月には、RAPID(自動脳血流解析ソフト)の導入を行いました。RAPIDの導入により、発症から時間が経過した脳梗塞の患者さんから、血栓回収療法が有効な症例を見つけ出す事ができるようになりました。

た。また、現在新たに手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を用いた肝胆膵外科手術を準備しており、更に低侵襲外科治療を推進してまいります。がん領域では、オンライン公開講座でお知らせしたように、遺伝性がんへの取り組みも始めています。

当院にとっては、2年間にわたりコロナ対応に追われる日々でしたが、地域の急性期医療を担う基幹病院として、がん・脳卒中・救急そして災害医療に対しても、当院の役割を全うするため日々奮闘してまいりました。コロナ禍の中でも徹底した感染対策を行い、皆様に安全・安心な医療を提供できるよう今後も努めてまいります。そんな中で、心配されるのは、過度の受診抑制により、持病の悪化や、がんの早期発見などの機会を失う事です。当院は予防医学にも力をいれています。必要な受診や健診まで控える事のないようにして下さい。

令和4年の干支は寅です。特に、今年は『非常に強い運勢を持つ年』と言われる36年ぶりの「五黄の寅年」です。令和4年が皆様にとって、強運の年となりますように心からお祈りいたします。

教えてドクター 《 眼科 》

Q&A

当科では、白内障や緑内障や網膜硝子体疾患の手術を行っています。

ここでは、白内障についてよくある質問についてお答えしていきます。



眼科副部長
額田 和之

白内障手術について

Q. 白内障はどんな病気？

A. 白内障とは、眼の中のレンズに当たる水晶体がにごる病気です。にごったレンズを通して物を見るので非常に見にくくなります。白内障の原因の多くは加齢によるもので、老人性白内障（加齢白内障）といわれます。

白内障患者の7割以上を老人性白内障が占めますが、他にも先天性や外傷性、アトピー、糖尿病、紫外線や薬剤、放射線などにより引き起こされる白内障があります。

Q. 白内障手術の前にはどんな検査をするの？

A. まず視力測定で現在の視力の確認をします。また、白内障以外に眼の病気がないか確かめることも大事です。眼底検査や眼圧検査を行うのはそのためです。手術が決定すると、眼軸長検査や角膜内皮検査や角膜形状解析などの検査を行っていきます。

Q. 白内障になれば、必ず手術を受けないといけないのですか？

A. 手術を受けるタイミングは人それぞれです。視力が1.0でいても生活に不自由を感じるくらい眩しさを訴える時は、手術を考えます。視力が0.7程度でも生活に困っていなければ、手術を待つこともあります。視力と自覚症状の両面から手術時期を決めていくことが大切です。

Q. 手術は入院が必要ですか？

A. 施設によっては異なりますが、当院では、日帰り手術と入院手術（1泊2日）の両方できます。

Q. 同じ日に両目の手術は受けられると聞いたのですが？

A. 患者さんの希望があれば、当院では受けることができます。メリットは、1回の入院もしくは、日帰りで、両眼手術終了することです。デメリットはそのぶん、手術時間がかかることです。

Q. 白内障手術の後は、どんなことに気をつければいいの？

A. 目の感染症に気をつけなければなりません。決められた日数と回数の点眼をさしましょう。また、眼の周りは清潔に保つように心がけましょう。食事などの制限はありません。車の運転などは、視力回復を待つて医師の許可が出てから始めましょう。

手術後、眩しさが辛い時は、サングラスなどかけると良いでしょう。



白内障ではない人の見え方



白内障で視力低下がある場合の見え方

膵臓について

膵臓は胃の裏にあり、ひらがなの「つ」を左右反転したような形をしています。膵臓の動きは主に2つあり、食物の消化を助ける膵液を作ること、インスリンなどの分泌による血糖の調整です。膵臓の右側は十二指腸と繋がっており、膵液を十二指腸に送り出しています。

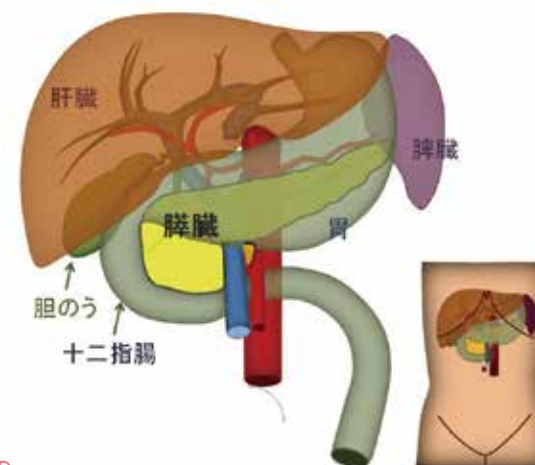


外科部長
日本肝胆膵外科学会
肝胆膵外科高度技能指導医
土居 幸司

膵臓が増えている!?

人口の高齢化に伴い、がん患者数は増えています。特に膵臓にかかる方が増えており、1990年代後半に比べると約2倍です（大腸がん：1.6倍、胃がん：1.3倍です）。

膵臓と聞くと非常に怖い病気と思われる方が多いと思いますが、医療の進歩により、手術や化学療法の治療成績は少しずつ改善しています。



どんな人が膵臓がんになりやすい？

膵臓がんになる原因はまだ十分解明されていませんが、膵癌のリスクとして次のようなことが挙げられます。

1. 家族歴／親や兄弟に膵臓がん患者がいる方。特に50歳未満で発症した方がいる場合。
2. 遺伝性疾患／遺伝性膵炎、遺伝性乳がん卵巣がん症候群、遺伝性非ポリポーシス大腸がん、家族性大腸ポリポーシス、Peutz-Jeghers症候群など。
3. 合併疾患／糖尿病患者（特に新たに発症した糖尿病や急にコントロールが悪くなった糖尿病）、肥満、慢性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）、膵のう胞。
4. 嗜好／喫煙や大量飲酒。
5. その他／塩素化炭化水素の曝露、ピロリ菌感染、B型肝炎ウイルス感染、歯周病など。

どうやって発見するの？

膵臓がんは特徴的な症状に乏しいですが、腹痛や腰や背中への痛み、黄疸、糖尿病の悪化などがあれば、膵臓がんの可能性も考え、血液検査やエコー、CT など詳しい検査を行います。

また、前述したような膵臓がんのリスクのある方は、検診（人間ドック）を受けたり、かかりつけの先生に相談して、膵臓の詳しい検査を受けることが早期発見につながります。



膵臓の治療

膵臓と診断され、切除可能であれば手術を行います。比較的早期の膵臓がんに対しては、侵襲の少ない腹腔鏡手術を行う場合もあります。

手術ができない場合は抗がん剤や放射線治療を行います。最近は遺伝子情報に基づいて最適な治療を行う、がんゲノム医療も始まっています。

コロナ禍でも、厚労省は「がん検診などの受診は、不要不急の外出に当たらない」として、受診を勧奨しています。がんを早期発見することは、患者さんの治療による身体的な負担を減らすことにもつながります。病院受診、健診・がん検診を定期的に受け、ご自分の健康状態をしっかりチェックしましょう。

職種別 | 当院の取組み紹介

■ 歯科技工士ってどんなお仕事？

歯科技工士は歯科医師の指示のもと、患者さんの治療に必要な歯科技工物の製作・修理など加工を担う医療技術専門職です。

歯科技工物とは歯のかぶせ物や入れ歯などで、その他に顎関節症用の歯列装置や無呼吸症候群用のマウスピースなども製作しております。

口の中は髪の毛一本でも異物と感じてしまうほど敏感なところなので、歯科技工士は安全で高品質な物を提供するために日々頑張っています。

歯は一度失われると元に戻らないことから、それを補う歯科技工物があることで食物をしっかり噛み砕いて食べるという口腔機能が回復します。

また、歯は見た目の美しさも大切であるため、歯科技工物による審美的修復で、患者さんの精神的満足感にも繋がります。

これからも専門性を活かして患者さんにとって最適な歯科技工物の製作に努めてまいります。



■ 歯科衛生士ってどんなお仕事？

私たち歯科衛生士は、外来での診療補助や処置の他、むし歯・歯周病ともに細菌が原因となる感染症であるという考えにたち、院内各科ならびにかかりつけ歯科の方々と連携しながら次のような仕事をしています。

- ①全身麻酔手術前の方への専門的なケア・処置（術後性肺炎など術後の経過に大きく影響するため）
- ②化学療法や放射線療法など、副作用症状の出やすいガン治療を受けている方への口腔内チェックや口腔ケアのアドバイス（痛みを伴うことが多いため）
- ③院内の糖尿病の方に向けた教室で、口腔ケアの考え方・方法を指導（免疫力の低下に伴い、歯周病が悪化しやすいため）
- ④呼吸ケアサポートチームの一員として、人工呼吸器装着中の方の口腔内チェック（口腔乾燥や汚れ、誤嚥の可能性のある動いている歯の有無を調べるため）

私たち歯科衛生士は、口腔を健やかに保つお手伝いを通して、患者さんの更なるQOL（日々の生活の質）向上のお役に立てるように努めています。



医療チーム紹介

つらさや悩みを和らげ、全力で解決に努める 緩和ケアチーム



緩和ケアは、病気を患うことで生じる体や心のつらさ、仕事や生活していく上での悩みなど、あらゆるつらさに関わります。その対象は、がんだけでなく、心不全や難病患者さんへと広がっています。ケアを受ける時期は、つらさや悩みがあるときです。末期か否かは関係ありません。

緩和ケアの目標は、患者さんと家族の暮らしを支えることです。そのために、痛みを和らげ、つらさに耳を傾け、悩みの解決に努めます。このような基本的な緩和ケアは、日々かわりのある医療スタッフが行います。それでも対応が難しい場合には、緩和ケアチームが参加します。

緩和ケアチームは、緩和ケアの専門知識をもった医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、公認心理師らで構成されています。患者さんやご家族、担当スタッフから得た情報をもとに、つらさや悩みの解決方法を多職種で考えます。

また、緩和ケア外来の開設、緩和ケア病棟の相談支援、スタッフ教育を通じ、緩和ケアの質の向上に努めています。

つらさを和らげる緩和ケア、それは医療の原点とされます。緩和ケアチームの利用を勧められたときは、どうぞ身構えず、気軽に利用してください。

緩和ケアチームは、患者さんやご家族、ケアを行う医療スタッフのパートナーでありたいと考えています。



助産師外来再開!!

助産師外来とは、正常な妊娠経過をたどる妊婦さんを対象に、医師と連携しながら、助産師が妊婦健診や保健指導を行う外来のことです。



12月7日から、産婦人科外来では、「妊産婦一人ひとりを大切にケアし、妊娠期から育児期における切れ目のない支援」というコンセプトをもとに、アドバンス助産師※を中心に助産師外来を再開しました。

医師による妊婦健診と同じように、助産師が妊婦さんの体調確認や、赤ちゃんが元気に育っている様子を確認させて頂くのはもちろん、完全予約制で待ち時間もなく、ゆったり、助産師とお話して頂くことができます。例えば、コロナ禍で出産をどう乗り切るか、お母さんと赤ちゃんの絆が深まる母子同室について、母乳の利点は何か、母乳を続けるためにはどうするか等。通常の妊婦健診では十分に相談できないことや、今抱えている不安を、助産師にお気軽にお話ください。妊婦さんやそのご家族の方の不安に共に寄り添い、赤ちゃんを迎えるにあたってさらに前向きに、より楽しみに思えるように、私達助産

師が、お手伝いさせて頂きたいと考えています。

より良いマタニティライフを送るために、ぜひご利用ください。助産師一同、心よりお待ちしております。

※アドバンス助産師については、当院ホームページの産婦人科ページをご覧ください。



助産師外来ご希望の方は、主治医、産婦人科スタッフにご相談下さい。

